

横田基地所属C－130Hの部品遺失について（要請）

平成29年7月13日、北関東防衛局を通じて、「平成29年7月12日（水）午後、訓練飛行後に行った点検中に横田基地所属C－130Hの金属部品が無いことが判明した。着陸装置の一部の部品で、大きさは約2インチ×5インチ（約5cm×12.7cm）、重さは約1ポンドのプレートである。」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

部品等の落下は人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものである。

先月にも横田基地に着陸したC－5輸送機の部品遺失が確認されたことから、再発防止の徹底を要請したが、再びこうした事故が発生したことは、極めて遺憾である。

度重なる事故の発生に対して厳重に抗議するとともに、貴職においてはこのような状況を十分に認識され、下記のとおり対応するよう要請する。（※）

記

- 1 事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。
- 2 航空機の点検整備を強化するとともに、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

※国に対しては、「貴職においてはこのような状況を十分認識され、次のとおり米軍に申し入れを行うよう要請する。」と記載

平成29年7月13日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
ケネス E. モス大佐 殿

北関東防衛局長 平井 啓友 殿

横田防衛事務所長 本田 和俊 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長 東京都知事	小池百合子
副会長 羽村市長	並木心
立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武藏村山市長	藤野勝
瑞穂町長	杉浦裕之